

令和元年第8回大分市教育委員会会議録

- 1 日時 令和元年8月28日(水) 午後3時から午後4時30分まで
- 2 場所 大分市役所第2庁舎6階 教育委員室
- 3 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 上杉 美穂子
二番委員 大久保 眞理子
三番委員 生野 誉士
四番委員 古城 一
五番委員 古城 和敬
- 4 出席事務局職員
教育部長 佐藤 雅昭
教育部次長 桑野 徹
次長兼学校施設課長 池田 武文
次長兼体育保健課長 西川 幸宏
次長兼文化財課長 坪根 伸也
大分市美術館副館長兼美術振興課長
長田 弘通
教育総務課長 高田 隆秀
学校教育課長 野田 秀一
人権・同和教育課長 河野 正行
社会教育課長 永田 佳也
教育センター所長 御手洗 宏昭
教育総務課参事 岡本 隆憲
社会教育課参事 河野 准一郎
- 5 書記
教育総務課参事補 黒木 眞由美 教育総務課指導主事 三嶋 みどり
教育総務課主任 園田 哲也
- 6 傍聴人 なし
- 7 議題
(1) 議案
(教議第25号) 令和元年度9月補正予算について
(教議第26号) 平成30年度決算について
(教議第27号) 大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について
(2) 報告事項

- ①平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ②令和元年度大分市いじめ防止子どもサミットについて
- ③鶴崎公民館施設整備について
- ④大分市関崎海星館施設整備基本構想（案）について
- ⑤「第3回FUNAIジュニア検定」の結果について
- ⑥荷揚町小学校跡地の発掘調査の成果について
- ⑦令和元年第1回市議会臨時会における一般議案について

8 会議の概要

- 教育長 　　ただいまより、令和元年第8回大分市教育委員会を開会いたします。（午後3時 開会）
- 教育長 　　会議に先立ち、本日の署名委員を一番委員、四番委員にお願いします。
- 教育長 　　それでは、ただいまより議案審議に入ります。
　　教議第25号「令和元年度9月補正予算について」を議題といたします。
　　事務局、説明をお願いします。
- 教育総務課長 　　それでは、教議第25号「令和元年度9月補正予算について」ご説明申し上げます。
　　補正予算の概要についてご説明いたします。
　　令和元年度9月補正予算につきましては、債務負担行為のみでございます。
　　はじめに、債務負担行為の追加となる「金池小学校施設整備事業」についてでございますが、民間活力の活用手法であるPFI事業により、新校舎建設等の整備を行うものであり、今般、本事業の設計・工事・維持管理に係る入札公告を行うことから、令和元年度から19年度までの間、58億2,000万円の債務負担行為を設定するものでございます。
　　本事業につきましては、昨年度PFI導入可能性調査を行った結果、現在価値に割り戻したバリューフォーマナー（VFM）で3.4%の費用削減効果が見込まれることからPFI事業としての実施が妥当とされており、去る7月19日にPFI法に基づく実施方針を公表したところでございます。

今後のスケジュールにつきましては、9月議会での承認後、10月に入札公告を行い、来年度早々には事業者を決定する予定としております。

次に、債務負担行為の変更となる「舞鶴小学校校舎等長寿命化工事請負費」「横瀬小学校校舎等長寿命化工事請負費」についてでございますが、相互に関連がありますので一括してご説明させていただきます。

本件につきましては、舞鶴小学校及び横瀬小学校の校舎等長寿命化改修工事において、設計金額の増額が必要となったことから、既に設定済みの債務負担行為の限度額を変更するものでございます。

変更内容につきましては、舞鶴小学校において、限度額を6億800万円から6億8900万円に、横瀬小学校において、限度額を5億7100万円から7億1500万円にそれぞれ増額変更するものでございます。

増額の主な要因は、本年4月に大分県からの通知に基づく、積算方法の変更によるものでございます。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただき、ご決定の上は、第3回市議会定例会にて、審議・決定をいたさうとするものでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは採決いたします。教議第25号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育長

それでは次に、教議第26号「平成30年度決算について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、教議第26号「平成30年度決算について」ご説明申し

上げます。

平成30年度の教育費のうち、教育委員会所管分の最終予算額は、29年度から30年度への繰越し分を含めまして、一番上の段の左側になります。149億4,983万2千円でございます。これに対しまして、決算額はその右側の「支出済額計」と表示しております。119億7,870万2,509円でございます。また、その右側になります。翌年度繰越額は、24億4,656万7千円でございます。

それでは、項目ごとに、ご説明いたします。

決算につきましては、説明項目が多く時間が掛かりますことから、まず第1項の教育総務費から第4項の幼稚園費までをご説明し、ご質問等があればお受けいたします。質疑応答が終わりましたら、残りの第5項の社会教育費から第6項の保健体育費までのご説明を行い、全体を通してのご質問をお受けいたしたいと考えておりますので、よろしくご説明いたします。

第1項の教育総務費から、順に主なものにつきまして、ご説明申し上げます。

始めに、1目の委員会費でございます。予算額は、929万8千円で、決算額は、850万4,905円となっております。

主なものは、教育委員報酬及び事務費でございます。30年度中の教育委員会の開催状況は右側の表のとおり、定例・臨時併せ18回の教育委員会を開催し、75件の議案について審議をいただいたところでございます。

次に、2目：事務局費でございます。予算額は、15億9,764万9千円で、決算額は、15億501万5,462円となっております。

主なものは、事務局職員の人件費、奨学助成事業等に要する経費でございます。

「未来自分創造資金」につきましては、高校進学を目指す市内の中学3年生を対象に、高校入学支度金10万円を支給するとともに、進

級時及び卒業時に各5万円を一時金として支給するもので、30年度は、中学3年生43名に高校入学支度金として10万円、高等学校等の1年生25名、2年生20名、3年生10名、4年生1名に一時金として5万円を支給したところでございます。

次に、「教科指導マイスター派遣事業」につきましては、退職教員を教科指導員として中学校に派遣し、数学科・理科・英語科・国語科における教員の授業力の向上により、生徒の学力の定着・向上を図ったところでございます。

次に、3目：教育指導費でございます。

予算額は、5億434万5千円で、決算額は4億5,588万9,682円となっております。

主なものは、小中学校における教育環境の充実や児童生徒の学力向上のための事業、生徒指導関係事業、人権等啓発活動に係る経費でございます。

「日本語指導等支援事業」につきましては、日本語指導が必要な児童生徒等に、日本語指導や通訳を行う講師等を派遣し、支援を行うものでございますが、30年度は、19名の児童生徒等が活用したところでございます。

次に、「外国語指導助手招聘事業」につきましては、各小中学校等に外国語指導助手を派遣し、コミュニケーション能力の基礎を養う学習活動等を行うものでございますが、29年度と比較しまして5名増員した配置を行ったところでございます。

次に、「特別支援等教育活動サポート事業」につきましては、29年度と比較しまして9名増員した配置を行い、きめ細かな教育に取り組んだところでございます。

次に、「大分っ子学習力向上推進事業」につきましては、非常勤講師を配置し、個別指導や習熟度別指導を実施するとともに、複式学級のある小学校において、学年別や課題別の指導を行ったところでございます。

次に、「学校図書館活性化事業」につきましては、昨年度同様、計

60名の学校図書館支援員を配置し、読書活動の推進に取り組んだところでございます。

次に、「いじめ・不登校等未然防止対策事業」につきましては、h y p e r-Q U検査を年2回全小中学校の小学校4年生から中学校3年生において実施し、児童生徒の状況や学級の課題を客観的に把握し、いじめや不登校等の未然防止を図ったところでございます。

次に、「大分市小中一貫教育推進事業」につきましては、賀来小中学校に加え、新たに神崎小中学校を小中一貫教育校にするとともに、小中一貫教育モデル校区8中学校区等が各学校や地域の実情に応じた小中一貫教育の在り方について研究し、成果を各学校に還元したところでございます。

次に、「大分っ子基礎学力アップ推進事業」につきましては、標準学力調査を実施し、調査結果を活用した指導方法の工夫改善を図るとともに、大分市基礎学力向上研究推進校を指定し、教科指導の実践的な研究を深め、成果を各学校に還元したところでございます。

次に、「スクールサポートスタッフ配置事業」につきましては、新規事業でございますが、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うサポートスタッフを市内の大規模校等に6名配置し、教員の負担軽減を図ったところでございます。

次に、4目：教育センター費でございます。予算額は、8億2,921万3千円で、決算額は8億746万9,891円となっております。

主なものは、教育センターの維持管理経費、教職員研修、情報教育環境整備、教育相談・特別支援教育事業に要する経費でございます。

「大分市特別支援教育メディカルサポート事業」につきましては、学校内において日常的に医療的ケアを行う必要がある場合に、学校に看護師を派遣し、医療的ケアを行うことにより、合理的配慮を図り、教育機会を保障するものでございますが、30年度は、小学生4名、中学生1名が利用したところでございます。

次に、「スクールソーシャルワーカー活用事業」につきましては、

嘱託職員のスクールソーシャルワーカーを2名、正規職員のスクールソーシャルワーカーを4名増員し計26名体制のもと、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけや学校への助言を通して、不登校や児童虐待等、生徒指導上の課題の解決に向けた取組を行ったところでございます。30年度は、対応事案件数2,966件のうち、好転件数は1,912件、好転率は64.5%となっております。

次に、「校務用ネットワークシステム整備事業」でございますが、システムの安全性向上を図るとともに、子どもと向き合える時間を確保するため、データの一元管理や校務支援システムの導入による校務の効率化等を推進したところでございます。

次に、「プログラミング教育推進事業」につきましては、新規事業でございますが、新学習指導要領における小学校段階からのプログラミング教育の導入を踏まえ、先行実践校において環境整備、教材の検証、教員の知識技能向上のための研修等を実施したところでございます。

次に、第2項：小学校費、1目：学校管理費でございます。

予算額は、52億396万3千円で、決算額は27億161万3,403円となっております。

主なものは、職員の人件費並びに小学校の管理・運営費及び営繕等の施設整備に要する経費でございます。

建物借上料につきましては、昨年度に引き続き、横瀬小学校及び舞鶴小学校の長寿命化改修工事に係る一時使用教室の借上を行ったところでございます。

営繕費につきましては、小学校全体で7億5,249万2千円となっております。

工事請負費につきましては、旧大志生木小学校プール解体外工事、旧野津原中部小学校プール解体外工事等を行ったところでございます。

次に、理科教育等設備整備費につきましては、小学校全体で669万7千円となっております。

次に、「学校緊急時コールシステム整備事業」につきましては、新規事業でございますが、不審者対応に加え、学校内及び校外学習での事故や怪我が発生した場合等の緊急連絡手段として、一斉同報機能を持つ携帯電話を教職員に配備したところでございます。

次に、「教職員出退勤管理システム整備事業」につきましては、新規事業でございますが、教職員一人一人の勤務時間を適確に把握し、教職員間の業務の平準化等を行うとともに、労働安全衛生の確保を図るため、全小中学校に教職員出退勤管理システムを導入したところでございます。

次に、30年度繰越明許の令和元年度への繰越額につきましては、国の補正予算に伴う対応として、小学校空調設備整備事業に要する経費について予算を前倒しして計上したものを令和元年度へと繰越したものでございます。

次に、2目：教育振興費でございますが、予算額は、3億6,537万2千円で、決算額は3億5,874万3,337円となっております。

主なものは、日本スポーツ振興センター負担金と、要保護及び準要保護児童援助費でございます。

次に、3目：学校建設費でございますが、予算額は、3,120万円で、決算額は3,020万9,375円となっております。

主なものは金池小学校施設整備事業に要する経費でございます。

「金池小学校施設整備事業」につきましては、新規事業でございますが、長寿命化が困難と判定された金池小学校について、新校舎建設等の整備を行うもので、30年度においては、主にPFI導入可能性調査を行ったところでございます。

次に、第3項：中学校費、1目：学校管理費でございますが、予算額は、19億4,791万3千円で、決算額は18億8,956万2,071円となっております。

主なものは職員の人件費並びに、中学校の管理・運営費及び営繕等の施設整備に要する経費でございます。

このうち、営繕費につきましては、中学校全体で2億5,215万8千円となっております。

理科教育等設備整備費につきましては、中学校全体で312万2千円となっております。

次に、「学校緊急時コールシステム整備事業」「教職員出退勤管理システム整備事業」につきましては、新規事業となりますが、その内容については先ほど第2項：小学校費にてご説明させていただいたものと同様であり、こちらは中学校費分となります。

次に、29年度繰越明許の30年度の実施額につきましては、中学校空調設備整備事業に要する経費について、国の補正予算に伴う対応として、予算を前倒しして計上したものを30年度へと繰越したものでございます。

次に、2目：教育振興費でございますが、予算額は、2億8,376万8千円で、決算額は、2億7,351万1,905円となっております。

その主なものは、小学校費と同様に、日本スポーツ振興センター負担金と、要保護及び準要保護生徒援助費でございます。

次に、第4項：幼稚園費につきましては、教育総務課計上の人件費及び体育保健課計上の幼稚園保健事業を除き、子どもすこやか部の所管でございます。

以上で第1項 教育総務費から第4項 幼稚園費までの説明を終わります。

ここで、一度説明を中断し、ご質問等があればお願いいたします。

教育長

ご質問等はございませんか。

委員

森岡小学校の営繕費の額が他校より多いのはなぜですか。

次長兼

森岡小学校の1億7,900万円の営繕費につきましては、1億7,000万円が屋内運動場長寿命化の工事に当てられております。

学校施設課長

委員

スクールサポートスタッフ配置事業についてですが、教育懇談会で豊府小学校に行った際、スクールサポートスタッフがいなかったことでした。雇用人数が6名となっておりますが、財源上、人数を増やす

ことができないのでしょうか。国と県から補助が出ているのでしょうか。

学校教育課長

財源は、国費が3分の1、県費が3分の2になっております。配置についてですが、平成30年度は、県全体で30名、そのうち6名が大分市内に配置されました。今年度は、県全体が36名、そのうち7名が大分市に配置されています。スクールサポートスタッフの活躍は、学校の働き方改革において、教員の負担軽減につながっているものと考えており、今後も配置の増員に向けて県に働きかけていきたいと考えております。

教育長

スクールサポートスタッフについては、現在、大規模校から配置をしております。

委員

いじめ・不登校等未然防止対策事業についてですが、「学級集団検査」の経費がこれだけかかるのでしょうか。検査をしたうえで、研修などそれを活用することも含めた額でしょうか。

学校教育課長

学級集団検査の経費をはじめ、いじめ、不登校等の生徒指導上の諸問題などについて専門的な見地からご意見をいただく協議会等を設置する経費を計上しており、協議会等を活用する中で、各学校に指導助言等を行い、諸問題の早期解決に努めているところでございます。

教育長

他にご質問はございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

質問が無いようですので引き続き事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、引き続き第5項より、説明させていただきます。

第5項：社会教育費、1目：社会教育総務費でございますが、予算額は、2億801万8千円で、決算額は1億9,957万964円となっております。

主な経費としましては、職員等の人件費、並びに陶芸楽習館管理運営事業、成人記念集会事業などでございます。

工事請負費につきましては、旧いまいち山荘解体工事等を行ったところでございます。

次に、「おおいたナイトスクール事業」につきましては、学齢期を

過ぎて、中学校程度の学習内容を学びたい人などを対象に、学習の機会を提供するものでございますが、平成30年度は、植田公民館、コンパルホール、鶴崎公民館の3会場で、国語、英語、数学、ふるさと知ろう科の4教科を実施したところでございます。

次に、「おおいたふれあい学びの広場推進事業」につきましては、学校を中心とした身近な場所で、地域の指導者や団体等との交流を通じ、体験活動を行うものでございますが、実施団体に対する補助金について、実施回数に応じた加算額を加え、実施体制の充実を図ったところでございます。

次に、「家庭教育支援推進事業」につきましては、1歳6か月児および3歳児健診時に読み聞かせを行う「絵本の広場」や小学校就学前健診時の子育て講演会、全中学校対象の思春期講演会等を行ったところでございます。

次に、2目：文化財保護費でございますが、予算額は、10億579万千円で、決算額は9億18万1,468円となっております。

主なものは、職員の人件費、史跡等管理費、大友氏遺跡保存整備事業及び大友氏遺跡情報発信事業などにかかる経費でございます。

「国指定史跡『大分元町石仏』保存管理事業」につきましては、塩分の析出によって石仏の風化が著しく進行しているため、環境調査及び塩類対策を実施したところでございます。

次に、「県指定史跡『府内城宗門櫓』修復公開活用事業」につきましては、府内城宗門櫓の半解体修理を実施し、修復過程の公開や修復後の一般公開を通じて活用を図るものでございますが、平成30年度は、解体修理工事等を行ったところでございます。

次に、「帆足本家酒造蔵耐震補強補修事業」につきましては、耐震性に問題があることが判明した市指定有形文化財である「帆足本家酒造蔵」の耐震補強及び外壁補修工事を実施するものでございますが、平成30年度は耐震補強実施設計を行ったところでございます。

次に、「曲石仏保存調査事業」につきましては、新規事業でございますが、県指定史跡「曲石仏」において、石窟内に亀裂が生じるなど

保存状態が悪化しており、保全のために必要な措置を講じる必要があることから、平成30年度は周辺の地形調査を行ったところでございます。

次に、「埋蔵文化財発掘調査受託事業」につきましては、民間の宅地開発等に伴う発掘調査を行ったところでございます。

次に、「大友氏遺跡歴史公園整備事業」につきましては、史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）に基づき、大友氏遺跡を歴史公園として整備し、公開・活用するものでございますが、平成30年度は、大友氏館跡庭園復元整備工事を行ったところでございます。

次に、「ワクワクおおいたFunai魅力発信事業」につきましては、国民文化祭やラグビーワールドカップ開催等にあわせて、大友氏遺跡を新たな魅力として国内外の観光客に向けて情報発信を行うものでございますが、30年度は、大友氏遺跡等をPRするコンテンツを制作するとともに、国民文化祭関連イベント、ジュニアガイド・市民ボランティアガイドの養成、歴史資料館のインバウンド対応などを行ったところでございます。

次に、「大友氏遺跡体験学習館及び南蛮BVNGO交流館に関する事業」につきましては、大友氏遺跡の内容や発掘調査への理解を深めてもらうために設置していた大友氏遺跡体験学習館を移転・リニューアルし、情報発信拠点として管理・運営を行う中、遺跡の重要性を市民に周知していくものでございます。平成30年度は、南蛮BVNGO交流館を開館したところでございます。

次に、29年度繰越明許の30年度実施額につきましては、文化財保護一般事業においては、府内城宗門櫓解体修理工事に係る入札の不調等により設計変更が生じ、不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、繰り越したものでございます。

次に、30年度繰越明許の令和元年度への繰越額につきましては、文化財保護一般事業においては、重要文化財「柞原八幡宮」保存修理工事に係る補助事業について、入札の不調等により設計変更が生じ、不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、繰り越し

たものでございます。大友氏遺跡保存整備事業においては、台風の影響により大友氏館跡庭園植栽整備工事に遅延が生じ、不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、繰越したものでございます。

次に、3目：エスペランサ・コレジオ費でございますが、予算額は、4,322万千円で、決算額は4,065万8,559円となっております。

内訳としましては、職員等の人件費及び各種教室実施にかかる経費が主なものでございます。

次に、5目：青少年費でございますが、予算額は919万千円で、決算額は830万3,085円となっております。

主なものは、補導員活動報償費をはじめとする青少年の健全育成にかかる経費でございます。

次に、6目：少年自然の家費でございますが、予算額は、1億8,129万4千円で、決算額は1億7,329万9,384円となっております。

主なものは、職員等の人件費及び管理運営費等にかかる経費でございます。

次に、7目：情報学習センター費でございますが、予算額は、4,141万4千円で、決算額は4,141万91円となっております。

主なものは、指定管理業務委託料でございます。

次に、8目：歴史資料館費でございますが、予算額は、1億5,912万7千円で、決算額は1億5,454万121円となっております。

主なものは職員等の人件費及び施設の維持管理並びに特別展・テーマ展や各種講座に係る経費でございます。

次に、9目：市民図書館費でございますが、予算額は、3億1,064万千円で、決算額は3億759万3,629円となっております。

主なものは職員の人件費及び窓口業務委託料、施設の管理運営費、

図書等の購入費並びに各種事業実施に伴う経費でございます。

次に、10目：美術館費でございますが、予算額は、3億7,045万1千円で、決算額は3億5,537万1,097円となっております。

職員の人件費及び施設の維持管理、美術品の購入費並びに各種事業実施に伴う経費が主なものとなっております。

30年度の観覧者数につきましては、利用状況及び特別展実施状況のとおりでございますが、特別展の「明和電機ナンセンスマシーン展 in 大分」や「蜷川実花展」など、多くの方にご観覧いただいたところでございます。

次に、11目：アートプラザ費でございますが、予算額は、8,178万4千円で、決算額は7,885万6,475円となっております。

主なものは、指定管理業務委託料でございますが、中段にございます磯崎新建築展示に係る業務等委託につきましては、隔年で行っている磯崎新建築展示室の展示替えに係る建築模型の搬送・展示・撤去等を行ったところでございます。

次に、12目：海星館費でございますが、予算額は、3,270万6千円で、決算額は3,245万7,003円となっております。

主なものは、指定管理業務委託料でございますが、下段にございます関崎海星館機能強化に向けた調査業務委託につきましては、施設の長寿命化を図るにあたり、どのような機能強化を併せて実施できるか調査を行ったところでございます。

次に、第6項：保健体育費、1目：保健体育総務費でございますが、予算額は、2億565万7千円で、決算額は1億9,110万5,169円となっております。

主なものは、職員等の人件費及び体育指導に係る経費のほか、学校体育振興事業として各種大会派遣の補助に伴う経費でございます。

「学校体育振興事業」の委託料のうち、「夢の教室」事業運営業務につきましては、スポーツ分野で活躍するアスリートを夢先生として

小学校に講師派遣するもので、講師自らの体験談などを通じて、子ども達に夢や目標に向かって努力することの大切さなどを身に付けていくものでございます。

次に、「運動部活動総合活性化事業」につきましては、運動部活動外部指導者人材バンクの設置や、外部指導者に対する研修の実施及びトップアスリートによる実技講習等を開催したところでございます。

次に、「大分っ子体力アップわくわく事業」につきましては、専門的知識を持った人材を活用し、陸上・器械運動サポート教室として小学校28校、体づくり運動サポート教室として、小学校13校、中学校9校において実施し、体育の授業の充実を図ったところでございます。

次に、「部活動指導員活用事業」につきましては、新規事業でございますが、部活動の充実、活性化及び教職員の部活動における負担軽減を図るため、市立中学校に部活動指導員を配置するもので、30年度については、18名を採用し、12校に配置したところでございます。

次に、2目：学校保健費でございますが、予算額は、9,609万7千円で、決算額は8,481万8,320円となっております。

主なものは児童生徒に対する健康診断に要する経費でございます。

「歯と口の健康づくり事業」につきましては、歯みがき指導、食に関する指導、むし歯予防効果が高い「フッ化物洗口」を実施し、児童生徒の歯と口の健康づくりを推進するもので、30年度については、市立小中学校39校でフッ化物洗口を実施したところでございます。

次に、3目：学校給食共同調理場費でございますが、予算額は、6億2,284万円で、決算額は6億81万6,498円となっております。

主なものは、東部共同調理場及び西部共同調理場の給食配送及び給食調理業務の委託料でございます。

最後に、4目：学校給食費でございますが、予算額は3億6,624万千円で、決算額は3億6,234万4,947円となっております。

す。

主なものは、給食調理場の管理運営に係る経費でございます。

以上で5項の社会教育費及び6項の保健体育費の説明を終わります。

ただ今、ご説明いたしました決算内容につきまして、本委員会でご決定をいただき、ご決定の上は、第3回市議会定例会にて、審議・決定をいただこうとするものでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

委員

市民図書館の利用者の推移を教えてください。

社会教育課長

利用者でございますが、平成29年度は、市民図書館が7万5千8百72人、地区公民館等が2万1千1百72人で計9万7千5百12人です。平成30年度は、約2万4千人増えております。

また、1人当たりの貸出冊数は、平成29年度が2.9冊、平成30年度が3.0冊と若干ですが改善しております。

委員

図書館の件ですが、障がいのある人たちへのケアが求められていると思いますが、万全でしょうか。

社会教育課長

大活字本をご用意しております。弱視など目の不自由な方、高齢の方に利用していただけるようにしております。市民図書館、コンパルホール分館併せて約4,800冊を専用コーナーに配架し、ご案内をしております。

教育長

大活字本に対する市民の要望の把握はしていますか。

社会教育課長

専用コーナーがわかりづらいという話がありましたので、市民図書館1階のフロアに大活字本のコーナーがありますので、わかりやすいように大きめの案内を設置しています。ホームページにおいても大活字本を紹介しています。これまで広報が少なかったことから、このような取組をしております。

委員

関崎海星館についてですが、昨年度視察をして素敵なところでしたので利用が増えるといいと思っています。利用者数の内訳ですが、入館者数と観覧者数の違いを教えてください。

社会教育課長 関崎海星館の建物に入った場合「入館者」として数えています。2階の天体望遠鏡のある有料フロアに入った場合は、「観覧者」として区別をしています。

教育長 観覧料は、どのようになっていますか。

社会教育課長 観覧料は、一般が420円でございます。高校生が210円、中学生以下は無料です。

教育長 県内で一番大きい天体望遠鏡は、国東の梅園の里に設置されているものです。関崎海星館の天体望遠鏡が2番目となります。

委員 「iの手」とは、学校のICTサポーターのことでしょうか。

社会教育課長 情報学習センターの研修を受けたボランティアです。

教育長 民法改正に伴い、18歳以上を成人とみなすということで、どの自治体も成人式をどのようにするか検討しています。国においても検討をしていますが、結論は出ていません。成人式は自治体が実施するので、各自治体の判断に委ねられそうです。いよいよ結論を出さないといけない時期となっております。理・美容業者、着物の貸衣装業者等からも申し入れを受けております。調べますと貸衣装の予約を受けるのは2年前からだそうです。そうすると今年の秋くらいには本市の方針を出した方が混乱は避けられると思います。18、19、20歳を式典の対象とするか、対象とする場合、実施時期をいつにするか、高校生が対象となりますので、従来通り1月となると、在学中ですし、大学入試もあります。ぜひとも皆さんのご意見を伺いたいと思います

委員 他の自治体の動向はどのようになっていますか。

社会教育課長 昨年度の段階では、逗子や京都は方針を示しておりました。全国の市町村では、60程度の市町でしか決定をしておりません。そのうち8～9割は従来通りということでございました。

教育長 どの自治体も他の動向を伺っているところであります。

委員 子どもが18歳成人の学年ですが、親子とも18歳の冬の成人式であれば、受験シーズンでもあるので参加しづらいただろうと考えております。18歳から20歳までを一緒に成人式で行うのはどうでしょうか。今の成人記念集会は、中学校ごとにブースが設けられるなど同窓

会的のような雰囲気があります。実行委員会で行っていますが、実行委員も大変になるのではないのでしょうか。

教育長 20歳の成人記念集会の対象者は、毎年何人くらいですか。

社会教育課長 今年は、4,784人です。初年度は、単純に3倍すると約15,000人となります。

教育長 18歳から20歳を同時に行うのは、会場の面からも難しいところがあります。

委員 20歳のお祝いということで、従来通りでよいのではないのでしょうか。時期や出席の困難さを考えると従来通りでよいと思います。

委員 従来通り、20歳でよいと思います。

委員 夏に実施した場合、どのようなことが考えられますか。

教育長 暑いため、おそらく着物が敬遠されるだろうと思われます。

委員 受験を控えている高校生は、出席するとは思えないので、従来通りでよいのではないのでしょうか。

委員 選挙に対する意識と併せて取り組むことも必要だと思います。若年層は投票率が低いので、このような会と抱き合せ、意識の向上を図ることが必要です。

教育長 選挙権の問題もそうですが、主権者教育が重要になります。そのようなことを踏まえ、高校ではテキストを作成し、学習しています。実は、18、19歳の投票率は高く、20代になると下がります。義務教育の段階から行うことが重要であるとのご意見もいただいております。

成人記念集会については、今回、いただいたご意見を参考に方針をまとめたいと思います。

教育長 他にご質問はありませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは採決いたします。教議第26号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育長

それでは次に、教議第27号「大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

教育総務課長

教議第27号「大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について」ご説明申し上げます。

「1改正理由」につきましては、地方公務員法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

「2改正内容」の1点目は、地方公務員法が改正され、成年被後見人等に係る欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化等が図られることから、成年被後見人又は被保佐人であることを理由に失職した職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規定を削除するものでございます。

2点目は、改元に伴う元号による年表示の改正を行うものでございます。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただき、令和元年第3回市議会定例会での審議・決定を経て、令和元年12月14日から施行しようとするものであります。

なお、2点目の改元に伴う改正につきましては、公布の日から施行しようとするものであります。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは採決いたします。教議第27号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育長

それでは次に、報告事項の説明をお願いします。

学校教育課長

報告事項1点目「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」ご報告申し上げます。

全国学力・学習状況調査につきましては、平成29年度から、市町

村や都道府県の平均正答率は、整数値で発表されることとなっております。また、今年度から、教科に関する調査問題は、「主として知識に関する問題」であるA問題と「主として活用に関する問題」であるB問題を一体的に問うAB一体型の形式に変更しております。

本市の平均正答率につきましては、小学校6年生は、実施された全教科において全国平均を上回りました。また、中学校3年生も、今回初めて実施された英語を含め、実施された全教科において全国平均を上回りました。

特に、数学につきましては、これまで、全国平均を下回っている状況が続いておりましたが、今回は、全国平均を上回ることができております。これは、各中学校が数学における学力の定着に意識をもって、補充学習や家庭学習に取り組んだほか、指導主事参加による研究授業、さらには教科指導マイスターの活用による授業改善等の成果によるものと考えており、今後も教員一人一人の授業力の向上に努めてまいりたいと考えております。

大分県が実施した学力定着状況調査の結果につきまして先月、公表されましたので、併せてご報告いたします。

大分県学力定着状況調査の結果につきましては、偏差値で示されており、小学校5年生、中学校2年生ともに実施された全教科において、全国平均を上回っております。

過去4年間の各種学力調査結果をまとめたものであります。色が付いている教科は全国平均以上を表したものでございます。

全国学力・学習状況調査が始まった平成19年度からの各種学力調査結果における全国平均達成率の推移を表したものであり、本年度におきましては、国と県の学力調査における全国平均以上の教科は、100%と、過去最高値となっております。

来年1月には、大分市が行う、小学校4年生、中学校1年生対象の標準学力調査も実施されますことから、今後とも指導主事による指導や教科指導マイスター等を活用しながら、引き続き学力向上の取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

学校教育課長

報告事項 2 点目「令和元年度大分市いじめ防止子どもサミットについて」ご報告申し上げます。

8 月 2 1 日水曜日に大分市南部公民館において、令和元年度大分市いじめ防止子どもサミットを開催いたしました。当日は教育委員さんをはじめ、御来賓の方々、引率教員等を含め約 1 9 0 名の参加でありました。

まず始めに、小中の代表校による「いじめ防止に向けた取組」の実践発表を行いました。

桃園小学校からは、『いじめ防止に向けた取組』～ピンクリボンに込めた思い～』について、一人一人がピンクリボンを身に付けることでいじめはよくないという意識づけができることや日常のあいさつ運動の紹介などがありました。大分西中学校からは、『西中人権宣言』を核とした大分西中生徒会のいじめ防止の取組について、「西中人権宣言」を核とした生徒会の活動や人権集会での朗読劇などの紹介がありました。

次に、子どもたちが小学校と中学校ごとにグループに分かれ、各学校のいじめ防止に向けた取組内容について交流を行いました。

その後、小学校では「グループいじめについて」、中学校では「SNS などのネットいじめについて」のテーマのもと討議を行いました。

グループ活動では、「仲よくするためには、接し方や人の気持ちや周りを意識して行動する。」、「声掛けをしたり、相談にのったりする。」、「いじめられている人がいたら寄り添って話を聞く。」、「一人で悩みを抱えずに友達や大人に相談する。」など、活発な意見交流が行われ、子どもたちが主体的にいじめの未然防止に向けて取り組むきっかけとすることができました。

今後は、このサミットで学んだことを学校に持ち帰り、子どもたちが学校の仲間や地域の方々に伝え、お互いを尊重し合うことができる、強い絆で結ばれた学校づくりを進めてほしいと願っております。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

社会教育課参事

報告事項3点目「鶴崎公民館施設整備について」ご報告申し上げます。

鶴崎公民館施設整備の基本方針についてでございますが、平成30年度に開催した「鶴崎市民行政センター周辺整備のあり方検討協議会」において協議した結果、施設整備の方針として、「築45年が経過する鶴崎公民館部分は、リノベーションによる施設整備を行い、長寿命化を図る。」、「エスペランサ・コレジオや老人いこいの家を取込んで施設の複合化をすることで、利便性の向上を図る。」、「隣接地に集会室を増築する。」の3項目が取りまとめられたところであり、この方針を踏まえた整備後のイメージ図と配置図につきましては、ご覧のとおりでございます。

次に、今年度のスケジュールでございますが、現行公民館及び増築する集会室棟の工事に係る設計につきましては、今年度末までに完了する予定となっております。

また、来年度以降工事に入るための事前準備として、エスペランサ・コレジオの敷地にある樹木の移植及び伐採を11月頃に実施する予定としております。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

社会教育課参事

報告事項4点目「大分市関崎海星館施設整備基本構想(案)について」ご報告申し上げます。

令和元年第6回教育委員会において、8月を目途に策定する旨をご報告申し上げておりました「関崎海星館施設整備基本構想」の最終案がまとまりましたので、概要をご説明いたします。

まず、「1基本構想の目的」でございますが、本市と同規模の都市の状況調査等をもとに、関崎海星館の現状、特性や課題を把握するとともに、今後求められる役割、導入が望まれる機能を踏まえ、策定するものでございます。

次に、「2基本構想の位置付け」として、大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」をはじめとする本市の上位計画、関連する各種計画との整合性を図るものとしております。

次に、「3関崎海星館の特性と課題の整理」につきましては、昨年度実施いたしました他都市の状況調査結果などをもとにまとめたところでございます。

次に、「4関崎海星館に求められる機能」でございますが、関崎海星館の特性や課題を踏まえ、「バリアフリー対応」、「天文・科学関連施設として大型望遠鏡の再整備」、「佐賀関の観光資源として関係部署との連携」、「プラネタリウムの設置」などとしております。

最後に、「5基本的な整備の方向性」でございますが、「星と海と人がつながり心の宝物を描く場所」をコンセプトとして、利用者一人一人が佐賀関の魅力を感じるとともに、海から宇宙へと想いを馳せ、普段体験できない非日常を楽しみ、特別な思い出が残る施設となることを目指すこととしております。

「ハード面の整備の方向性」でございますが、「施設の長寿命化及びバリアフリー化」、「天体望遠鏡の更新」、「プラネタリウム設備の導入」、「展示の工夫」、「アプローチの見直し」、「周辺道路整備促進のための関係機関との連携」としております。

次に、「ソフト面の対応について」でございますが、「飲食コーナーの充実」、「関崎灯台など佐賀関地域の観光資源の活用」、「学校教育との更なる連携」等としております。

右ページには、ハード面の整備として、エレベーターや多目的トイ

レの設置、プラネタリウムの導入、天体望遠鏡の更新、アプローチの見直しなどをイメージ図として記載しております。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

文化財課長

報告事項5点目「『第3回FUNAIジュニア検定』の結果について」ご報告申し上げます。

検定は、7月27日土曜日に大分市教育センター、鶴崎・植田の両市民行政センターの3会場で行いました。受検者数は、小学校3年生から中学校3年生までの81名で、市外からの受検者も1名ありました。

結果は、グラフにありますとおり、最高点100点、平均点53.9点、90点以上の合格者は4名でした。

合格者に対しては、8月21日に市役所で表彰式を行い、合格証書と記念品を贈呈し、特に成績が優秀であった合格者には、得点の高い順に「教育長賞」、「優秀賞」として表彰いたしました。また、成績が優秀もしくは受検者の多かった小中学校には「特別賞」を授与いたしました。

今回の検定は、出題範囲にお手元にお配りしております郷土学習資料「大友宗麟と府内のまち」を新たに加え、受検申込者には事前に冊子を配布したところですが、出題範囲が広がったこともあったのか、残念ながら4名の合格に留まりました。しかしながら、最高点が100点であったことや、受検者の最年少である小学3年生が合格するなど、将来を担う子どもたちの頑張りに驚いているところでございます。

また、受検者へのアンケートでは、問題がやや難しかったと感じた児童生徒も多くいましたが、検定を受けて「大分の歴史や文化がよく分かった、興味を持てた」との感想も多く、「郷土に対する理解と愛着を深めてもらう」という検定の目的は、十分に達成できたのではな

いかと考えております。

今後は、合格者のうち希望者を「FUNAIジュニアガイド」の3期生として養成し、イベント等で活躍していただく予定です。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

教育長

受検結果の得点分布を見ると、40～49点が低くなっています。作問の段階でこの層を増やすようにしなければ、難しいというイメージになるのではないのでしょうか。せっかく受検したのに敬遠する子が増えると困ります。

委員

先日も意見が出たように、「合格」だけでなく、「1級」や「2級」などを設ける、または不合格でも点がわかると「前よりよかった」などやりがいが出るのではないのでしょうか。

文化財課長

先日ご意見をいただき、第1回から第3回までの受検の状況を分析したところ、第1回から第2回と続けて受検した児童生徒は140名中32名でした。今回、第3回については20名が再チャレンジしており、そのうち1名は第1回から3回受検しています。動機づけの方策を考えていきたいと思いますが、不合格でも「次こそは」と考えている児童生徒も多いので、検討していきたいと考えております。

教育長

他にご質問はございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

文化財課長

報告事項6点目「荷揚町小学校跡地の発掘調査の成果について」ご報告申し上げます。

発掘調査は平成29年8月から2年間をかけて実施してまいりました。調査対象面積は5,500㎡、今日5日に現地調査を終了いたしました。

調査の結果、近代、江戸時代、戦国時代の3つの時代の遺跡が見つかっております。

まず、近代、明治時代以降の遺跡につきましては、旧荷揚町小学校の歴史に関連するもので、旧校舎の基礎をはじめ、当時使用していた

石版、ロウ石、インク瓶など、143年におよぶ旧荷揚町小学校の歴史を物語る多くの遺物が発見されています。

江戸時代の遺跡につきましては、別紙資料「府内城三之丸武家屋敷跡の発掘調査速報」をご覧ください。当地は、府内城の三の丸にあたり、絵図などからも武家屋敷の存在が想定されていたところであり、調査では、江戸時代に描かれた絵図通りの7軒分の武家屋敷跡が発見されています。

しかも、それぞれの屋敷跡からは、屋敷の主の名を記した陶磁器が出土したことから、屋敷の主につきましても、絵図に記されたとおりであったことが裏付けられました。さらに、それぞれの屋敷地の大きさや、井戸跡やゴミ穴から出土した日常生活に使用された陶磁器などから、当時の武士の具体的な生活状況をうかがい知ることができました。また、そうした中でも、将軍家や諸大名などへの贈答品として佐賀県鍋島藩が藩直営の窯で作らせた高級陶磁器である鍋島焼の皿が出土しており、その来歴などが注目されます。

戦国時代のものでは、大友氏の拠点であった中世の府内の町から、南蛮貿易の窓口となった当時の港である「沖の浜」までの道路の一部と考えられる幅約4mの道路跡が見つかっています。これは、戦国時代の府内の様子を描いた「府内古図」と呼ばれる古絵図にも港と中世の府内町をつなぐ道路が描かれており、関連が注目されます。

主な調査成果につきましては、以上でございますが、今後は、出土した膨大な遺物の整理作業を行い、令和2年度中に発掘調査報告書を刊行する予定でございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

教育総務課長

報告事項7点目「令和元年第1回市議会臨時会における一般議案について」ご報告申し上げます。

教育委員会関係の議案としまして、「工事請負契約の締結につい

て」がございました。

内容につきましては、7月定例の本委員会でご説明し、ご決定をいただいたものでございまして、原案どおり可決し、成立しましたことをご報告申し上げます。

以上でございます。

教育長 ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 予定されていた報告事項は以上ですが、他に何かございませんか。

副館長兼 (お知らせ)

美術振興課長 「特別展[磯崎新の謎]展について」

教育長 ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 他に何かございませんか。

教育総務課長 9月の教育委員会日程等につきまして調整をお願いいたします。

第9回定例教育委員会は、9月26日木曜日午後2時30分から開催いたしますのでよろしくをお願いいたします。

なお、本日の会議終了後は、連絡事項等がございますので、お時間をいただきたくお願い申し上げます。

以上でございます。

全委員 (了承)

教育長 他に何かございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午後4時30分 閉会)